

か せん ろく

何羨録

釣之何羨録

祭魚洞文庫
5-0974
藏書架票

趣味としての釣りが日本で発展をはじめたのは、江戸時代といわれています。最初は武士の間で、しだいに庶民へと浸透し発展しました。

現存する日本最古の釣りの専門書『何羨録』が書かれたのも江戸時代、享保八(1723)年でした。陸奥国黒石藩三代藩主津軽采女の作です。采女が江戸湾でのキス釣りなど遊びの釣りについて記したものでした。江戸湾でのキスの釣り場、釣具や餌、釣期や気象について記しています。

完

三百年の時に蘇る釣りの極意

A552 T3

知幾千萬

蟹沼



極意

芝新網町熊野屋左平治手釣則沖
釣より荒金ト云
右付タリトモ云
鐵外ニ付テ釣ノ形鷹ノ
鷲釣ト云此釣日
長崎屋
門流實走釣也
掛釣ト云
伯藤兵衛

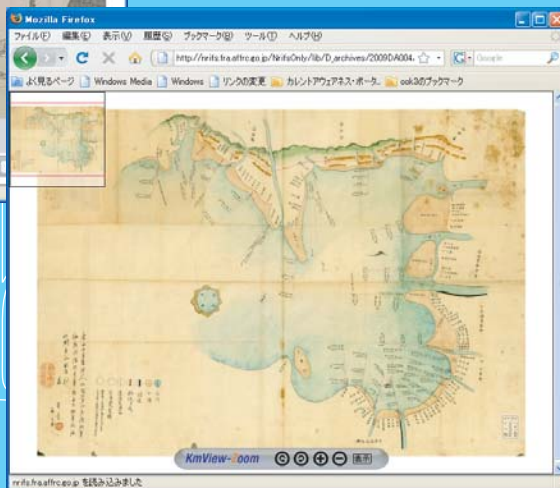
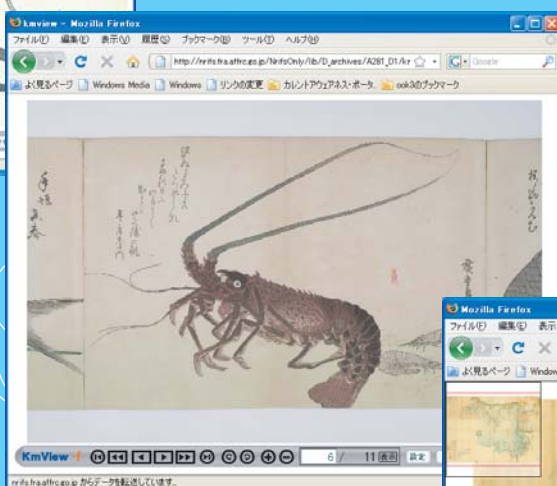
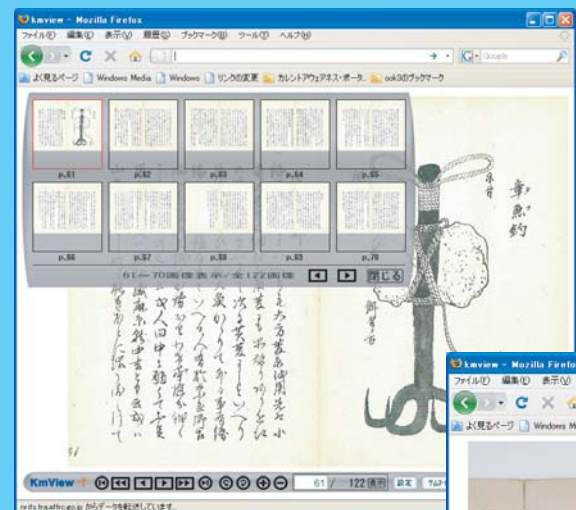
水産総合研究センター 図書資料デジタルアーカイブ

http://nrifs.fra.affrc.go.jp/book/D_archives/

このたび独立行政法人水産総合研究センターでは、「水産総合研究センター図書資料デジタルアーカイブ」を構築し、歴史的資料のインターネットによる公開を開始いたしました。

独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所の前身となる水産庁中央水産研究所は1993（平成5）年に水産庁水産資料館（東京都品川区）より所蔵資料約17万点を移管され現在に至っておりますが、この中には渋沢敬三氏寄贈による祭魚洞文庫（5,700冊）をはじめ多くの稀少な資料が含まれています。

これら貴重な資料を多くの方に見ていただくためにデジタルアーカイブを構築し、その第一弾として約40点の資料をインターネットを通じて公開しました。



デジタルアーカイブに収録されている資料

- ・何羨録
- ・水産図解（上下巻）
- ・東京名物浅草公園水族館案内
- ・少年教育水族館
- ・龍宮怪こはだ後平治
- ・第五回内國勸業博覧会堺水族館図解
- ・第五回内國勸業博覧会附属水族館図（3図）
- ・皇和魚譜
- ・水産調査豫察報告（1～4巻）
- ・さかなつくし
- ・東京湾漁場図：漁場調査報告 第五十二版
- ・東西蝦夷山川地理取調図（21図）
- ・曲寸准里内海深淺浜浦図
- ・嘉永年中幕府にて調 内洋浅深図（江戸湾内）
- ・江戸湾口水深図

独立行政法人水産総合研究センター
中央水産研究所図書資料館

〒236-8648 神奈川県横浜市金沢区福浦2-12-4
Tel.045-788-7608 Email: ref-nrifs@ml.affrc.go.jp